

## 令和元年度旭川市病院事業会計決算の概要

令和元年度決算は、最終的な病院の損益を示す純損益は黒字となりましたが、医師不足による産婦人科の入院休止やそれに伴うマイナスイメージ、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、入院収益、外来収益ともに前年度を大きく下回る結果となりました。

資金面においては、単年度資金収支では1億3千293万7千円の赤字となったことで、資金残高はマイナス9億2千856万円と増え、資金不足比率も増加してしまいました。

令和2年度においても、新型コロナウイルス感染症に対応するための病床確保や、患者様の受診控え等により、収益がさらに落ち込んでいる状況ではありますが、産婦人科等の医師確保を行うとともに、新たな加算の取得やふるさと納税を通じた新たな財源の確保などに取り組み、経営改善に努めながら市立病院として市民に求められる役割を果たしてまいります。

### 1 令和元年度決算の内容

#### (1) 患者数

(単位：人)

区 分		予 算 a	決 算 b	増 減 b-a
入 院	延べ患者数	126,270	114,431	-11,839
	1日平均患者数	345.0	312.7	-32.3
外 来	延べ患者数	232,080	221,960	-10,120
	1日平均患者数	967.0	917.2	-49.8

#### (2) 収益的収入・支出（税込）

(単位：千円)

項 目	予 算 a	決 算 b	執行率 b/a(%)	備 考
病院事業収益	12,485,884	11,292,608	90.4	
医業収益	10,622,878	9,475,892	89.2	
入院	7,262,120	6,240,767	85.9	
外来	3,138,327	3,031,866	96.6	江丹別診療所を含む
その他	222,431	203,259	91.4	
医業外収益	1,552,718	1,511,010	97.3	一般会計負担金を含む
特別利益	310,288	305,706	98.5	
病院事業費用	11,643,989	11,101,283	95.3	
医業費用	11,482,427	10,945,948	95.3	江丹別診療所を含む
医業外費用	157,561	155,231	98.5	
特別損失	1	104	10,400.0	
予備費	4,000	0	0.0	

## (3) 資本的収入・支出（税込）

（単位：千円）

項目	予算 a	決算 b	執行率 b/a(%)	備考
資本的収入	983,786	939,622	95.5	
企業債	422,700	374,200	88.5	
補助金	0	1,430	—	
一般会計負担金	561,086	563,992	100.5	
資本的支出	1,406,344	1,357,065	96.5	
建設改良費	512,301	464,022	90.6	
企業債償還金	893,043	893,043	100.0	
予備費	1,000	0	0.0	

## 2 財務諸表

## (1) 損益計算書

1年間の企業活動の経営成績を表します。

（単位：千円）

事業年度 項目	平成30年度 a	令和元年度 b	増減 b-a
医業収益	10,090,956	9,456,759	-634,197
医業外収益	1,376,019	1,505,838	129,819
特別利益	506,104	305,706	-200,398
収益計(7)	11,973,079	11,268,303	-704,776
医業費用	10,890,963	10,788,936	-102,027
医業外費用	441,057	288,876	-152,181
特別損失	4	104	100
費用計(イ)	11,332,024	11,077,916	-254,108
損益(7)-(イ)	641,055	190,387	-450,668

(2) 貸借対照表

年度末における財産の状態を表します。

(単位：千円)

事業年度 項目	平成30年度 a	令和元年度 b	増減 b-a
資産	10,590,099	10,193,119	-396,980
固定資産	8,754,136	8,421,117	-333,019
流動資産	1,835,963	1,772,002	-63,961
うち現金預金	11,988	31,655	19,667
負債	16,526,542	15,939,175	-587,367
固定負債	12,378,907	11,509,404	-869,503
流動負債	3,524,628	3,864,894	340,266
繰延収益	623,007	564,877	-58,130
資本	-5,936,443	-5,746,056	190,387
資本金	9,925,406	9,925,406	0
剰余金	-15,861,849	-15,671,462	190,387
うち利益剰余金	-15,861,849	-15,671,462	190,387

3 経営状況（主な財務指標）

(1) 損益

損益計算 令和元年度純損益 +1億9千38万7千円

令和元年度は1億9千38万7千円の純利益を生じており、平成30年度の純利益6億4千105万5千円に引き続き黒字となりました。

(2) 資金収支・資金残高

資金収支計算 令和元年度収支 1億3千293万7千円の収支不足

資金残高（マイナスは不足） 令和元年度末残高 -9億2千856千円

資金残高は、流動資産と流動負債（企業債を除く）の差で表され、当院は資金不足が発生している状況です。資金収支は、前年度と今年度の資金残高の増減で実質的な収支状況を表します。

(3) 資金不足比率

資金不足比率は、資金不足の状況を表し、次の式で算出されます。当院においては、平成29年度から資金不足比率を計上することとなり、以降増加しています。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模 (医業収益額)}} = \frac{928,559 \text{千円}}{9,639,082 \text{千円}} = 9.6\%$$